

一般質問

議員10人

町政を問う

一般質問は、執行機関が提出した議案と関係なく、町の行政全般にわたって、議員個人が執行機関に質問し、見解を求めるものです。

吉岡町では、質問および答弁をあわせて、1人60分以内の持ち時間があります。

本会議の様子を生中継、
録画でも配信。



アクセス方法は

吉岡町議会

検索

■富岡 大志 議員（11ページ）

1. GIGA スクール構想に関して
2. 防災・危機管理に関して
3. 学童保育の開所時間拡大と施設拡充に関して

■廣嶋 隆 議員（12ページ）

1. スクールバスの料金について
2. 自転車保険の加入義務について
3. 吉中生徒の町有マイクロバス活用について
4. 林道栗籠井堤線について
5. 社会福祉協議会およびシルバー人材センターについて
6. 組織機構改革について

■富岡 栄一 議員（13ページ）

1. 町の用水路について
2. 交通事故防止対策
3. ふるさと納税
4. 特別定額給付金
5. 町の入札状況について

■平形 薫 議員（14ページ）

1. 国の交付金対象事業について
2. 児童・生徒の心のケアについて

■村越 哲夫 議員（15ページ）

1. 町の道路状況について
2. 福祉政策について
3. 各施設の設備・備品について

■岩崎 信幸 議員（16ページ）

1. 新型コロナウイルス対策での動向と財政を問う
2. PDCA サイクルに物申す
3. 組織機構改革で加わった事項について

■坂田 一広 議員（17ページ）

1. 町のインフラ整備について
2. 水道事業について
3. 高齢者などの交通手段について

■飯島 衛 議員（18ページ）

1. 新型コロナウイルス対策について
2. マイナンバーカードの利活用について

■飯塚 憲治 議員（19ページ）

1. 令和元年、降雨被害の復旧等措置に関して、その後の進捗状況は
2. 学校休校による学習の遅れ対策、GIGA スクール構想のスムーズな実践構想は

■小池 春雄 議員（20ページ）

1. コロナウイルス問題
2. 都市計画道路の優先順位は
3. スラグ碎石の撤去



とみおか たいし
富岡 大志 議員



録画映像は
こちらをCHECK

ICT教育で 独自の 取り組みを

町独自の 「HiBALI プラン」で 進める

問 GIGAスクール構想の中で、ICT（情報通信技術）による教育イノベーション（変革）が進む。その中で町独自の取り組みへの考えは。

答 教育長 GIGAスクール構想に準じ「※HiBALIプラン」を策定。これにより通信環境の整備・1

人1台の端末の整備・学校での指導体制の充実を着実に進めたい。また、県の「先進プロダ

ラミング教育実践モデル校」に駒小・明小が指定された。町独自の取り組みとして、児童・生徒への「新たな学び」のほか、ICT教育全般に対して教職員のスキル向上も図れる事例

となるようにしたい。

問 国土強靱化地域計画の策定は、早急に取り組むべきでは。

答 町長 県の担当者を引き、学習会や協議を重ねている。早急に策定を進めたい。

問 受援計画の策定も急ぐべきでは。

答 総務課長 防災専門員の助言を仰ぎ素案を作成。地域防災計画などと併せ、内容を精査し完成させる。

問 防災専門員に期待できることは。

答 町長 防災関係の諸計画やマニュアルの見直し業務に積極

問 国土強靱化地域計画の策定は、早急に取り組むべきでは。

答 町長 県の担当者を引き、学習会や協議を重ねている。早急に策定を進めたい。

問 受援計画の策定も急ぐべきでは。

答 総務課長 防災専門員の助言を仰ぎ素案を作成。地域防災計画などと併せ、内容を精査し完成させる。

問 防災専門員に期待できることは。

答 町長 防災関係の諸計画やマニュアルの見直し業務に積極

的に携わっている。豊富な経験による助言などをお願いしている。

問 災害時相互援助協定を、同時に被災する可能性の小さい所と締結していくべきでは。

答 総務課長 同協定の締結は前橋市とのみ。大規模災害時には本町と同様に被災し、援助が期待できない可能性が高い。ある程度離れた自治体との協定を模索したい。

問 協定だけでなく普段の交流も重要。

答 総務課長 平素の交流の充実から可能性を探りたい。

問 協定だけでなく普段の交流も重要。

答 総務課長 平素の交流の充実から可能性を探りたい。

問 協定だけでなく普段の交流も重要。

答 総務課長 平素の交流の充実から可能性を探りたい。

問 協定だけでなく普段の交流も重要。

答 総務課長 平素の交流の充実から可能性を探りたい。

問 協定だけでなく普段の交流も重要。

答 総務課長 平素の交流の充実から可能性を探りたい。

子育ては協議していればいいのか

答 協議を進めていきたい

問 学童の開所時間拡大と施設拡充について、その後の対応状況は。

答 町長 明治地区は施設整備に向け地権者と交渉中。駒寄地区は社協と対応を協議中。

問 7カ月後には次の学年が始まる。すぐに対応すべきでは。

答 健康子育て課長 何ができるか検討中。

問 7カ月後には次の学年が始まる。すぐに対応すべきでは。

答 健康子育て課長 何ができるか検討中。

問 7カ月後には次の学年が始まる。すぐに対応すべきでは。

答 健康子育て課長 何ができるか検討中。

問 7カ月後には次の学年が始まる。すぐに対応すべきでは。

答 健康子育て課長 何ができるか検討中。

問 この問題について、いつまでにどうするか目標を示してほしい。

答 町長 社協と協議を進めていきたい。

問 それでは前回の答弁と同じ。協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

答 町長 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

問 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

答 町長 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

問 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

答 町長 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

問 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

答 町長 協議する検討すると、言っているだけなのが問題。

ミニ解説

※HiBALIプラン
吉岡町が策定したICT教育推進の基本構想。
Hill-town Basis toward the Active Learning Innovationの頭文字をとった造語。町の鳥「ひばり」にちなんでいる。



導入されるパソコン
年内に全ての児童・生徒分の整備が完了する予定



ひろしま たかし
廣嶋 隆 議員



録画映像は
こちらをCHECK

第2子から スクールバス 料金を半額に

問 子育て家庭に対する経済支援として、第2子からスクールバスの料金を半額に。

答 町長 ある程度の使用料の負担は、適正な行政運営だと考える。ただ、世帯として考えた場合に、保護者の経済的負担の大きさにについても理解で

世帯として 軽減の観点 から検討

き、今後検討したい。

問 最近、自転車が加害者となる高額賠償事故が発生している。自転車保険の加入義務が必要と考えるが。

答 町長 高額賠償事案が発生していることは認識している。県では、自転車保険加入を義務化することが

検討されている。町として、県条例の施行に合わせて進めたい。

問 吉中生徒の部活動の大会出場時に、選手登録にもれた部員を輸送するため、町有マイクロバスの活用を。

答 町長 登録にもれた部員にも教育的配慮から、昨年度駅伝部の関東大会出場では、町有マイクロバス利用を許可した。今後も、公務を妨げない範囲で、同様の対応をとる。

林道の進捗状況は

答 樹木の伐採が完了

問 林道栗籠井堤線の本年度の進捗状況は。

了予定。

問 林道の終点は。

答 町長 道路新設部分の樹木の伐採が完了。道路本体工事に着手している。

答 産業観光課長 計画上の終点は、滝の沢川を渡河した左岸まで。

答 産業観光課長 今後の工程は、造成工事10月末、排水設備工事11月末、路盤工事12月末、防護施設・標識・※法面保護工事1

問 不法投棄物などの心配があるが、対策は。

答 産業観光課長 ゲートなどの設置を検討。

問 社会福祉協議会およびシルバー人材

センターの運営形態は。

答 介護福祉課長 社は、最高議決機関として、20人からなる評議員会を置き、執行機関として8人による理事会を設けている。

ような成果があったか。

答 企画財政課長 新設した住民課内に、利用頻度の高い窓口業務を集約した。総合案内を新設し、案内要員を常駐させた。成果の測定は難しいが、おおむね好評。



スクールバス利用者 8月現在 25人

問 4月組織機構改革では、窓口業務の統合化によって、どの

※法面
切土や盛土により作られる人工的な斜面部分。

ミニ解説



とみおか えいいち
富岡 栄一 議員



録画映像は
こちらをCHECK

道路協や水路協の 除草管理は

答 シルバー人材派遣 の道路作業員など

問 道路協や水路協の除草管理は。

答 建設課長 町民による道路愛護事業

や、道路パトロール、住民からの要望により、除草作業をシルバー人材センター派遣の道路作業員などで行っている。

問 ※多面的機能支払交付金事業を利用し、農地周りの水路や農道などの管理を。

答 建設課長 多面的機能支払交付金事業を農業団体などに引き続き周知を図りたい。

問 豪雨災害での対応は。



見通しが悪く安全対策が求められる

答 建設課長 大雨に伴う水害対策として、側溝布設替えや、側溝の蓋をグレーチング

（金網状の側溝のふた）に交換、水路の部分的な改修工事などの対策をしている。

宮田大藪線の今後の見通しは

答 交通量の変化を注視し進める

問 都市計画道路宮田大藪線の今後の見通しは。

答 建設課長 県道南新井前橋線完成後、交通量の流れの変化を注視しながら進める。

問 見通しが悪く事故の多い交差点に、カーブミラーと防犯カメラの設置を。

答 総務課長 カーブミラー設置は信号機がないことが前提。防犯カメラは通学路や公園などを中心に、子どもたちの安全・安心を守ることを目的で設置。

問 令和元年度ふるさと納税収入は約456万円だが、町民が町外に納税した額は。

答 企画財政課長 件数は431件。金額は約3118万円。

問 企画財政課長 返礼品目の追加・クラウドファンディングの導入や、納税サイトの

答 企画財政課長 返礼品目の追加・クラウドファンディングの導入や、納税サイトの

問 令和元年度ふるさと納税収入は約456万円だが、町民が町外に納税した額は。

答 企画財政課長 件数は431件。金額は約3118万円。

※多面的機能支払交付金 農地周り・水路・農道の草刈りや、堀さらいなどに対し交付金が支払われる制度。

の追加を行う。

問 特別定額給付金の申請状況は。

答 企画財政課長 8月27日支払時点で、21億6870万円。人口では99・8%の支給率。

問 令和元年度入札状況は。

答 企画財政課長 条件付き一般競争入札（5千万円以上）2件。指名競争入札は91件、平均落札価格は約799万円、平均落札率は89・3%。

問 競争入札執行制度審査委員会委員長（副委員長）の、この1年間の改善点は。

答 副町長 改正品確法に基づき、適正な価格設定による最低制限価格調査。適正な工期設定・入札の競争性の確保として、一部の随意契約を指名競争入札にした。

ひらかた
平形かおる
薫 議員録画映像は
こちらをCHECK

文化財センター の町おこし事業 の成果は

答 当初設定した 目標値達成

問 文化財センターの町おこし事業の成果は。

答 町長 当初設定した目標値は達成できている。今後も取り組みを継続する。

問 町おこしが目標であるが、リバートピア吉岡、またけセンターなどの来場者数は、指標として適切なのか。

答 教育委員会事務局 長 交流人口や町内周遊・滞在の拡大を目指すとの目標であり、指標としては適切であると認識している。

問 高齢者を中心とした地域福祉交流拠点整備事業の運営主体

はボランティアと思うが、いかに育成し拡大しようとしているのか。

答 介護福祉課長 社協ボランティア・

町内ボランティア団体などを対象に9月に人材の発掘・育成・活動の創出を目標にハートボラカフェを開催する。

問 拠点の利用度が低いとの監査委員の指摘があるが、改善方法は。

答 介護福祉課長 まだまだ回数が少ない。

大樹町交流事業、 来年度の実施は

答 本年度中に来年度のチケットを確保

問 大樹町交流事業を来年度は実施するのか。

答 町長 本年度中に来年度の航空機チケットを確保できるようにした。

いと実感している。より一層のPRを図り、新たな利用団体・個人を増やす。社会福祉協議会などと協議していく。

問 地域特産品生産体制構築事業にある、自立可能な会社組織の進捗は。

答 産業観光課長 小倉乾燥芋組合員の有志による協議会形式の事業展開となっている。生産体制の構築を目指すという当初の目的は実現していない。

問 修学旅行をどのように計画しているのか。中止するのか。

答 教育委員会事務局 長 1泊2日で、明小が福島県の会津と裏磐梯、駒小が栃木県の日光と那須に、当初

の行き先を変更して計画している。吉中は、交通手段を貸し切りバスに変更するなどして10月下旬に実施できる。



歴史文化情報発信・交流事業拠点



地域福祉活動拠点



むらこし 村越 哲夫 議員



録画映像は
こちらをCHECK

大久保上野田線の 今後の見通しは

答 渋川市と連名 で改めて県に 要望

問 都市計画道路、大久保上野田線の今後の見通しは。

答 町長 計画道路の延伸先については

渋川市との連携が不可欠。渋川市と連名で改めて県に要望した。

問 川久保踏切について、渋川市とJRの協議などの進展は。

答 町長 渋川市の都市計画道路、半田南線の計画道路となる。県道昇格や整備の要望を渋川市が県に行っているが、県土整備プランには位置づけされていない。

問 下野田地内を東西に走る、下野田・上野田線の交差点標識の設置についての進展は。

答 町長 主道路従道路が明らかとなつて

いる交差点は、標識設置の優先順位としては低くなるが、再度上申を行う。

問 関越自動車道法面の繁茂樹木の伐採を。

答 建設課長 ネクスコ東日本に対して、必要に応じて樹木の伐採の要請を行う。

問 交通量が多く狭い町道の拡幅を。

ヘルプマークの普及と考える

答 ホームページや広報に掲載

問 ヘルプマークの普及についての考え

答 介護福祉課長 交付については、介護福祉課・健康子育て課で行っている。周知

答 建設課長 都市計画道路の整備計画に合わせて整備ができるか、道路状況や交通量など考慮し地元の要望事項として検討している。

問 ※8050問題で町の調査と対応状況は。

答 介護福祉課長 引きこもり状態については町で調査を行った。社会福祉協議会・地域包括支援センターなどと連携を図り、発見に結びつけている。

答 教育委員会事務局 現場を確認し、

車椅子やベビーカーの車輪がはまりこまない細目のグレーチングに交換していきたい。

問 各施設のステージ階段についての安全対策は。

答 教育委員会事務局 文化センター

ホールは、車椅子スペースからセンターのロビーや舞台、トイレへのアプローチがしやすいように配慮した構造となっている。小学校の体育館などは、車椅子対応の階段昇降機や、仮設のスロープの設置などで対応する。



法定の一時停止標識がまだついていない
(下野田・上野田線交差点)

ミニ解説

※8050問題
主に80代の親が50代の子どもの生活を支えている問題。